No.8 令和８年
９月15日
（家庭数配布）

学園東小 生活指導だより

小平市立学園東小学校
校長　阿原　正人
担当　生活指導主任
三大寺　早苗



温かい見守りに感謝
～青少対『愛の一声運動』を振り返って～

９月１日、２日、７日、１４日の４日間にわたり、青少対の皆様による『愛の一声運動』が行われました。早朝よりこどもたちの登校を見守り、温かい声をかけていただき、心より感謝申し上げます。
青少対の皆様からは、こどもたちの様子についてたくさんの感想や今後の励みとなるご意見をいただきました。

○嬉しいお声

「元気よく気持ちのよい挨拶をしてくれて嬉しかった。」

「夏休みが明け、こどもたちが一回り大きくなったように感じられる。」

「久しぶりに友達に会えて、とても嬉しそうに登校していた。」



○課題や気になる点

「あいさつがしっかりできている子とそうでない子の差が見られる。」

「声をかけても恥ずかしそうに目をそらしてしまう子がけっこういる。」

あいさつは、人と人とを心で結ぶ大切な「リボン」です。相手の目を見て交わす一言で、お互いの気持ちが温かくなり、安心感や信頼関係が生まれます。学校でも引き続きあいさつの大切さを指導してまいりますので、ご家庭におかれましても、朝の「おはよう」から相手に気持ちが届くあいさつができるようお声掛けいただけますと幸いです。



交通安全について

これからの季節は日暮れも少しずつ早くなり、夕方の視界が悪くなりやすくなります。また、登下校時や放課後の事故を防ぐため、車への注意について学校でも改めて指導いたしました。

① 道路への飛び出しは絶対にしない（「とまる・みる・まつ」の徹底）
② 車の直前・直後の横断はやめる（ドライバーの死角に入らない）
③ 狭い道や見通しの悪い交差点では、必ず一度立ち止まって左右を確認する
④ 歩道を通行し、車道の近くを歩かない
⑤ 暗くなる前に早めの帰宅を心がける

大切な命を守るため、ご家庭でも通学路や遊びに行く際の危険な場面について、改めてお子様とお話しいただけますようお願いいたします。学校でも地域と連携を図りながら、こどもたちが安全に過ごせるよう指導を続けてまいります。